

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

青森県南部町 国民健康保険南部町医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	11	-	ト透訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
16,185	4,909	第2種該当	-	10：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
26	40	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	66
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
25	36	61

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[ ]	令和6年度全国平均

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の縦横・ネットワーク転換を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

## I 地域において担っている役割

一次医療圏における急性期医療や慢性期医療に重点を置き、特殊医療の人工透析やリハビリテーション及び救急医療、在宅・地域医療など、不採算・特殊部門に関わる医療の提供も行き、公立病院としての役割を担っている。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、医療収益において入院患者数の減少に伴う入院収益の減、外来患者数の増加に伴う外来収益の増及び新型コロナウイルス感染症予防接種委託料の増、医薬費用においては、給与改定に伴う給与費の増、新型コロナウイルス購入に伴う材料費の増、委託料等の経費の増により、落ち込むこととなった。④病床利用率は、類似病院平均を上回っているものの、療養病床の入院患者数減少により前年度より1.06%の減となった。⑤入院患者1人1日当たり収益は、療養病床が一般病床より病床数が多いことから類似病院平均を下回っている。⑥外来患者1人1日当たり収益は、主に発熱外来患者数の減少に伴う検査収入の減により、減となった。⑦職員給与費対医療収益比率は、給与改定に伴い職員給与費が増加したため医療収益も増加したことにより0.1%の減となった。類似病院平均を上回っていることから、適正な職員配置を行い収益改善が必要である。⑧材料費平医療収益比率は、コロナワクチン等の薬品費の増、給食材料費の増により類似病院平均を上回っている。

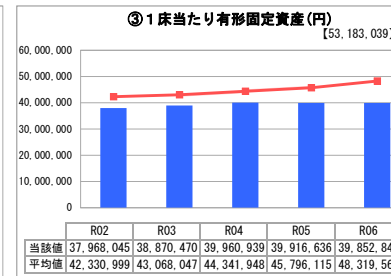
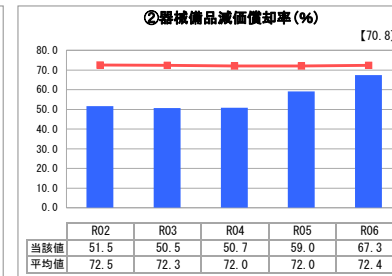
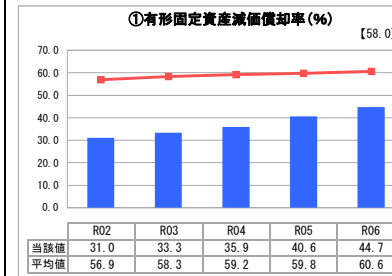
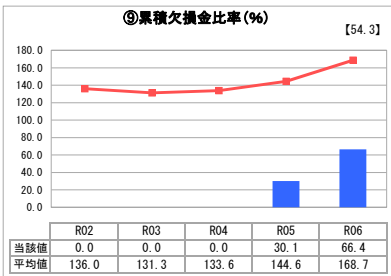
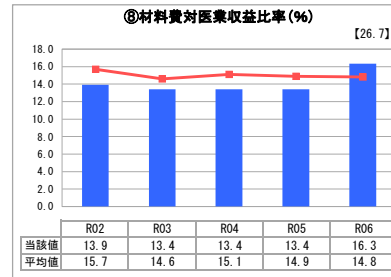
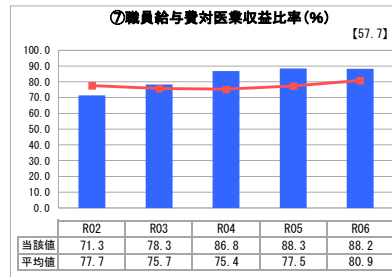
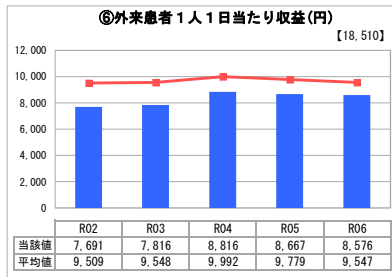
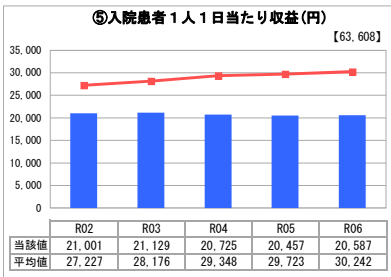
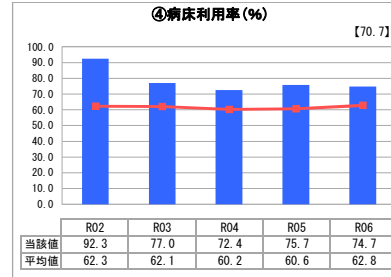
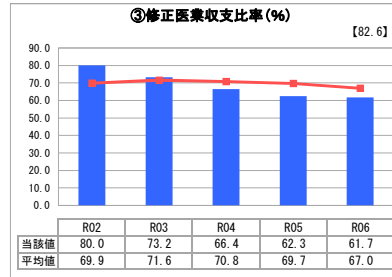
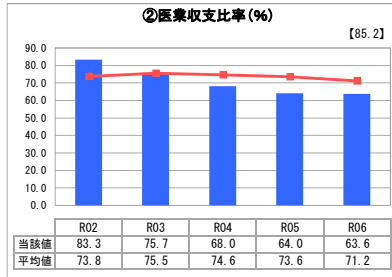
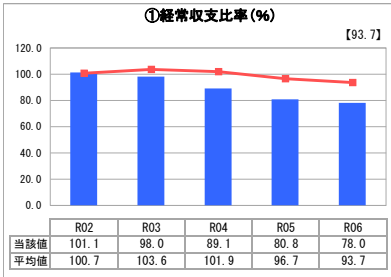
### 2. 老朽化の状況について

平成26年度の新築移転に伴う、施設整備及び医療機器の更新から10年が経過し、減価償却が進んでいる。全ての項目で類似病院平均を下回っているが、耐用年数を過ぎた医療器械から、優先度及び収支のバランスを考慮し、計画的に更新していく。

### 全体総括

令和6年度決算は、入院患者数の減、コロナ関連補助金の減などにより、収益が減少した。費用においては、給与費、材料費の増により、前年度より純損失が増加している。  
人件費物価高騰による費用の増加に、収益が追いついていない状況であることから、地域の医療機関等と連携をより密にし、入院患者受入れに伴う病床利用率の向上を図り、同時に地域のニーズに対応した診療科の強化及び健診などの保健事業並びに在宅医療を強化し、収益を確保していく。

## 1. 経営の健全性・効率性



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。